

■ 大学低年次から“キャリア開発能力”を育む ■
「企業連携型キャリアスタートプログラム」を開設
～ 時代に合わせて、大学のキャリア教育をアップデート ～

このたび関西大学では、新時代の大学キャリア教育として、1・2年次生を対象とする「企業連携型キャリアスタートプログラム※」を2021年4月から始動させます。同プログラムを通じて、3年次には主体的に進路を定め、自らキャリアを開発・形成できる人材を創出します。(※)正課外のプログラムとして開催

本件の
ポイント

- ・時代に寄り添った1・2年次生対象の大学キャリア教育プログラム
- ・企業との連携による実践的な課題解決型学習(PBL)を通じて、自身のキャリア開発能力を醸成
- ・マイテーマ(現在の興味)を問う自己変革型のアプローチで、学部教育での専門性(学び)を深化させる

■ “今”の時代に寄り添った先進的な大学低年次キャリア教育

「人生100年時代」において多様なキャリア形成を実現するために、大学1・2年次から自らのキャリアを主体的に描いていく機会を創出することがますます重要となっています。そこで本学キャリアセンターでは、キャリア教育や企業の採用広報支援など、“産学の橋渡し”を事業として展開するOriginal Point株式会社をパートナーに迎え、同社と協働して1・2年次のキャリア支援を強化します。大学キャリア教育において、1・2年次生へのアプローチは重点テーマとなっていますが、各業界を牽引する企業(次ページ参照)と連携した体系的な通年のプログラムは、本学の取組みが先進事例となります。

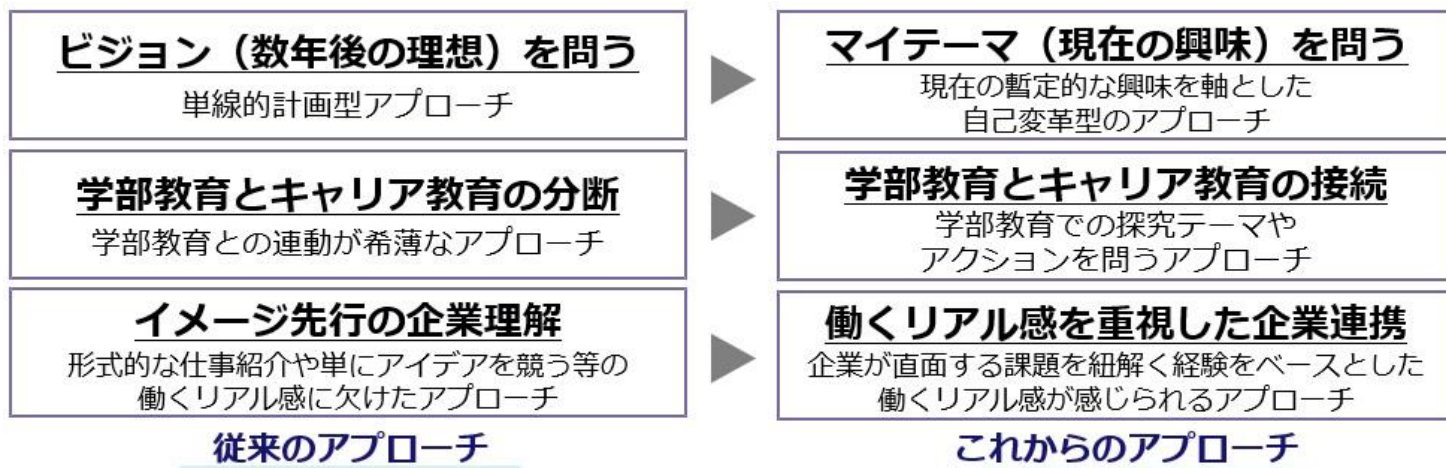
■ 実践的な産学連携PBLプログラム等で2つのオーナーシップを育む

同プログラムでは、連携企業の社会人ゲストとの対話や実践ワーク、産学連携によるPBLプログラム等を通じて社会のリアルに触れ、学部教育で専門性を磨くことの意義を明確にするとともに、社会で求められる力を養います。具体的には、自身のキャリア開発を主体的に捉え行動を起こす力(=キャリアオーナーシップ)と、社会における自身の役割を見出し、周囲に価値を届ける力(=ジョブオーナーシップ)を育みます。

<同プログラム受講によって期待される効果>

- (1) 日本企業の採用形態やVUCAの時代に合わせた「変化適応力」が身につく
- (2) 現在の興味を問うことを通じ、環境に合わせた「自己探求力」が身につく
- (3) 学部教育(自身の専攻学問)における学びの深化(学部教育とキャリア教育の接続)
- (4) 産学連携型PBLでの葛藤経験によって、実際に働く「リアル感」が得られる

■ これからの大学低年次キャリア教育においてアップデートする3つのこと



■ 企業連携型キャリアスタートプログラムの詳細

【概要・目的】

「キャリア開発能力」を高めるための実践的な課題解決型学習プログラム。早い段階から学生の「自らキャリアを形成していく力」および「社会で価値を生み出す力」を育むことで、卒業後のキャリアプランを主体的に選択できる人材を創出する。学部教育との接続も視野に入れたプログラム設計で、同プログラムで学んだことを授業やクラブ・サークル活動、アルバイト等の日常で実践することにより、3年次からの本格的な就職活動を自走できる状態にまで引き上げる。

【対 象】 学部1・2年次生

【種 別】

① 前期体験プログラム

〔開講時期〕 4～5月（理論編：90分×1回、実学編：90分×6回）

〔開催形態〕 オンライン形式（1クラス開講、定員：300名程度 ※対面とのハイブリッド形式での実施も想定）

〔内 容〕 人生100年時代のキャリア開発（前半：理論編、後半：実学編）をテーマに、「働く」から逆算し、これからの大学生活の過ごし方を問う参加型講座（グループワーク有り）。理論編では、大学の教員が参画し、「大学の学びにおけるポイント」等を学生に対して投げかける。また、実学編では、企業とのパネルディスカッションを通じ学生の興味喚起を促す。

② 前期導入プログラム

〔開講時期〕 5～7月（90分×6回）

〔開催形態〕 対面形式（3クラス開講、定員：各50名程度）

〔内 容〕 社会人ゲストとの対話や実践ワークを取り入れた参加型プログラム。経験学習サイクルを理解し内省力を高めていき、最終講座では、大学生活におけるマイテーマに向き合う。

③ 後期選抜プログラム

〔開講時期〕 10～12月（90分×8回）

〔開催形態〕 対面形式（3クラス開講、定員：各40名程度）

〔内 容〕 企業が直面する課題を紐解くグループ活動を中心としたPBL型プログラムを通じて、働くうえで求められることへの理解、自分の価値提供力を磨く。また、チームビルディングから始まり、中間発表、最終発表を通じて、プレゼン運営を実践的に学ぶ。

【運営パートナー】 Original Point 株式会社

【連携先企業】 アクセンチュア、NTT西日本、コクヨ、ダイハツ工業、ロート製薬、ワコール

※企業からの出講回数は、前期体験：1回、前期導入：最大2回、後期選抜：2回を予定

■ Original Point 株式会社の概要

▼ <https://originalpoint.co.jp/>

キャリア開発3.0を掲げ、大学と企業向けに、時代に合わせた人材育成と適切なキャリア選択を後押しする仕組みづくりを行う。大学向けには、大学の理念に合わせて、初年次キャリア教育プログラムの提供をカスタマイズ提供している。また、アメリカで定着している職業訓練の手法「ジョブシャドウイング」の“国内初”動画配信を含む、大学生の早期キャリア観育成を目的としたサービス「ハタチのトビラ」を展開する。

以 上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、木田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp